



寄贈いただきました

(有)あおきスポーツ様

(有)あおきスポーツ様から、石橋高等学校の第95回記念選抜高等学校野球大会出場記念ボールを寄贈いただきました。

いただいたボールは、市役所南側玄関入ってすぐのショーケースに展示しています。ぜひご覧ください。

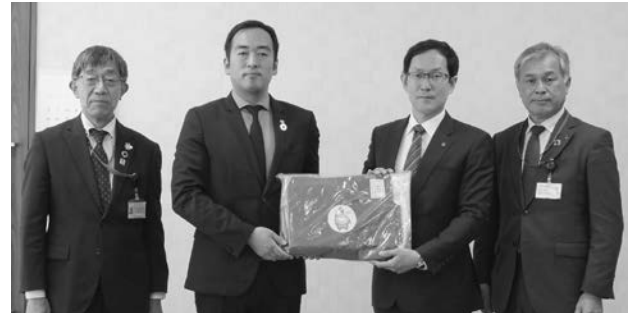


寄贈いただきました

(株)誠和。様

(株)誠和。様から、防災ずきん505枚を寄贈いただきました。

いただいた防災ずきんは、市内の小・義務教育学校の1年生へ配布し、大切に使用させていただきます。



寄贈いただきました

宇都宮農業協同組合様

宇都宮農業協同組合様から、ランチョンマット188枚と教材本「とちぎの農業」36冊、「農業とわたしたちの暮らし」239冊、教材DVD12枚を、管内の小・義務教育学校に寄贈いただきました。

いただいたランチョンマットは1年生へ、教材本は3年生と5年生に配布し、大切に活用させていただきます。



市民向け「在宅医療・介護」講座を開催しました

映画鑑賞&トークショー「いのちの停車場」

3月29日、グリムの館で市民向け映画鑑賞&トークショー「いのちの停車場」を開催しました。

映画「いのちの停車場」上映後、映画界を代表する監督の一人である成島出監督をはじめ、脚本の平松恵美子氏、プロデューサーの富永理生子氏、医師の太田秀樹氏・鶴岡浩樹氏・鶴岡優子氏（ナビゲーター）の6名の方々に、終末期の在宅医療をテーマにした映画製作にまつわるお話をいただきました。

参加者からは、「成島監督の『どう生きるか』という言葉に感激しました」「平松さんからお聞きした『風通しの良い在宅医療』が理想ですね」「在宅医療は後ろ向きの医療ではない、最先端の医療だ」という言葉が心に響きました」といった喜びの声が寄せられました。映画撮影の貴重な裏話や在宅医療についての活発なトークを通して、命の尊さについて改めて考え直す機会となりました。

